

# カウンセリングルームだより

## No.2

令和3年11月29日

大阪市立真住中学校  
スクールカウンセラー  
佐々木 恵太郎

### ◇話すことの意味 ～王様の耳はロバの耳～

みなさんは、「王様の耳はロバの耳」という物語を知っていますか？もとはギリシア神話だったそうですが、次のようなお話です。

ある国に、秘密をかかえた王様がいました。王様の耳はロバの耳だったのです、王様はいつもぼうしをかぶって隠していましたが、床屋に髪を切ってもらう時は見せなければなりません。王様は床屋に「このことを話したら命はないぞ」とおどして秘密を守らせていました。

床屋は秘密を守っていましたが、今で言うところの大スキャンダルです。誰かに話したくてたまらなくなりました。それでもその気持ちを何とかおさえてがまんしていると、床屋は調子がおかしくなり病気になってしまいました。とうとうがまんできなくなった床屋は、町を出てひとけのないところで穴をほり、「王様の耳はロバの耳～！王様の耳はロバの耳～！」とさけびました。すると気持ちがすっきりして、病気もなおってしまいました。

このお話は、秘密をかかえることの大変さをあらわしています。また、言いたいことをがまんすることは心と体に悪い影響があるということも示しています。床屋は言いたいことを言えずに秘密をかかえ続けたことで、ストレスが高まってしまったのかもしれませんが。こうしたことは物語の中だけでなく実際にもあることです。床屋のようにどこかで誰かに話をするだけでも気持ちがすっきりしたり、安心できるようになったりします。



みなさんも、何かがまんしている気持ちがあったり、秘密をかかえていたりすると、しんどくなってしまうこともあるかもしれません。友だちや先生、家族など話せそうな人が身近にいれば、ぜひ少しだけでもお話ししてみてください。そしてあまり誰にも知られたくないなということがあれば、スクールカウンセラーに相談してみてくださいね。

ちなみにこの物語はその後どうなるかというと、床屋が穴をほった近くの木から風が吹くと「王様の耳はロバの耳〜！」と聞こえるようになり、秘密がばれてしまうのです。王様ははじめ怒りましたが、考え直して床屋をゆるすことにしました。すると王様のロバの耳が取れて、人間の耳に戻って物語は終わります。めでたし、めでたし…。



#### ◇相談したいときは…

スクールカウンセラーは毎週月曜日の 10:00～16:45 に来ています。2 階のカウンセリングルームか職員室のどちらかにいます。相談したいことがあるときは、誰でもいいので先生に言って予約をとってもらってください。休み時間は校内を回っていることもあるので、見かけたら気軽に声をかけてくださいね。話したことの秘密は守ります。

#### ◆保護者の皆様へ

中学生活はお子さんにとって色々な変化が訪れる時期です。そうした変化に本人だけでなく、ご家族が戸惑われることもあるかもしれません。スクールカウンセリングは、保護者の方もご利用いただけます。子育てのこと、お子さんの性格や行動、学校生活、友だち関係についてなど、どんなことでもお気軽にご相談ください。一緒にお子さんのことを考えさせていただきます。

相談をご希望される場合は、事前に教頭先生を通して予約をお取りください。

#### 2、3 学期の来校日

12 月…6、13 日

1 月…17、24、31 日

2 月…14、21、28 日

3 月…7 日